

「六甲ミーツ・アート芸術散歩2022」 第一弾アーティスト発表！

～4月28日（木）からお得な早割パスポートを販売～

六甲山観光株式会社（本社：神戸市 社長：寺西公彦）は、2022年8月27日（土）から11月23日（水・祝）まで現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート芸術散歩2022」を開催します。本展は、神戸・六甲山上の各施設を舞台に展示される数々のアート作品を、ハイキング気分で周遊しながら楽しめる現代アートの展覧会です。2010年から毎年開催し、今年で13回目を迎えます。

この度、第一弾招待アーティスト6組が決定しましたのでお知らせします。

また本展開催にあたり、有料会場をお得に周遊できる「鑑賞パスポート」「ナイトパス付鑑賞パスポート」を早割価格で4月28日（木）～6月30日（木）の期間に販売します。

※本展の詳しい開催概要は別紙をご参照ください。

《出展決定 招待アーティスト ※50音順》（2022年4月28日現在）



高橋 匡太



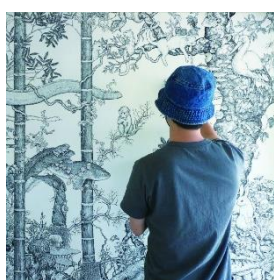
はやしだちか



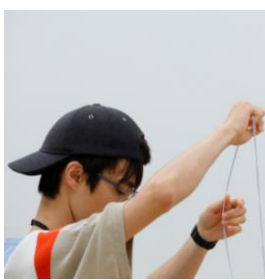
ヘロシナカメラ



松本 かなこ



村山 大明



盛 圭太
photo: Keizo Kioku

※本年は招待・公募アーティスト含め約40組が出展予定です。なお公募アーティストは5月6日（金）まで募集しています。詳しくは（<https://www.rokkosan.com/art2022/>）をご確認ください。

各アーティストのプロフィールは次頁をご確認ください。

◆「早割鑑賞パスポート」の販売について

【販売価格】 大人（中学生以上）2,000円、小人（4歳～小学生）900円

※当日券は大人2,500円、小人1,000円

【販売期間】 2022年4月28日（木）～6月30日（木）

【販売場所】 イープラス、チケットぴあ、ローソンチケット、asoview!（※asoview!のみ7月1日（金）より販売予定）
※ひかりの森～夜の芸術散歩～が楽しめる[ナイトパス付鑑賞パスポート]も販売します。
詳しくは別紙の開催概要をご覧ください。

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2022 出展決定 招待 アーティスト

アーティスト名：高橋 匡太

たかはしきょう た

<経歴>

1970年 京都府生まれ・在住

1995年 京都市立芸術大学大学院美術研究科
彫刻専攻修了

光や映像によるパブリックプロジェクト、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅 100 周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。



高橋 匡太



《ひかりの実 in SIKI ガーデン》2021 年
ROKKO 森の音ミュージアム
写真：村上美都

アーティスト名：はやしだちか

<経歴>

1989年 京都府生まれ・大阪府在住

2010年 大阪デザイナー専門学校
イラストレーション学科卒業

主に油彩・アクリルを使用。
キャンバス作品、壁画、古書に描くなど幅広く展開。
黒と白を使い何色にも染まらない強さを描く。
近年では上から色を重ね、受容していく優しさを表現。
人間の多面性と葛藤を描き、社会に抗い生きる人々の未来を願っています。



はやしだちか



《アンビバレンス》2021 年

アーティスト名：ヘロシナカメラ

<経歴>

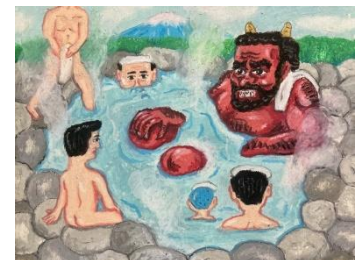
1983年 新潟県生まれ・東京都在住

2016年 長岡造形大学造形学部視覚デザイン
学科卒業

地元新潟の長岡造形大学でイラストを学び、卒業後イラストレーターを志し上京。国内各所での個展開催や、広告、web、雑誌、書籍など様々な媒体で活動中。
作品に共通するテーマは、楽しいけど少し切ないこと。
古いものと犬が好きで、溢れる哀愁が創作のヒントになっている。アクリル絵具やクレパス、たまに段ボールを使い、日常のちょっとした出来事をファンタジーに描く。



ヘロシナカメラ



《富士見温泉》2021 年

まつもと
アーティスト名：松本かなこ

<経歴>

1985年 東京都生まれ・在住
2006年 早稲田大学卒業

2006年よりイタリアにてマドンナーラとして地面に絵を描き始め、日本での活動を2008年に開始し、国内外のフェスティバルで地面に絵を描き続けている。子ども達との制作、壁画、舞台道具、地下足袋への装飾など、出会いや経験から制作の幅を広げている。



松本かなこ



《Face to Face》2020年
モリコロパーク大道芸フェスティバル

むらやまともあき
アーティスト名：村山大明

<経歴>

1989年 京都府生まれ・在住
2014年 創造社デザイン専門学校
イラストレーション専攻卒業

幼少の頃より山村で育ち、農業学校卒業後農業を行う。

その後デザイン専門学校卒業、大阪で画家として活動を始め、2020年より京都の山里に移住しアトリエを構える。「自然」と「調和・交わり」をテーマに、モノクロのペンによる細かな描き込みで動植物の群像を描く。またペン画風の立体造形「3-Draw series」を制作し、立体と平面を組み合わせたインスタレーションを展開している。



村山大明



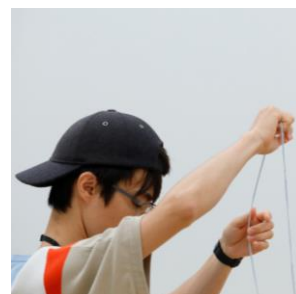
《森II》2021年
くどやま芸術祭、九度山町

もり けい た
アーティスト名：盛 圭太

<経歴>

1981年 北海道生まれ、パリ在住
2011年 パリ第八大学大学院美術研究科先端芸術修了

線の始まりを糸とする仮説からドロ잉シリーズを制作。2017年フランス初のコンテンポラリードロ잉に特化したアートセンター、ドロ잉・ラボにて、施設のこけら落としとなる個展「Strings」を行う。近年では、ヴォルフスブルク現代美術館（ドイツ）、国立新美術館（東京）、東京都現代美術館（東京）など国内外で作品を発表。作品は、マルセイユ現代美術センター、アキテーヌ現代美術センターなどのパブリック・コレクションや個人コレクションに所蔵されている。



盛 圭太
photo: Keizo Kioku



Bug report, 2020
《ドロ잉の可能性》
東京都現代美術館（東京）

【別紙】
『六甲ミーツ・アート芸術散歩2022』開催概要

※2022年4月28日（木）現在の情報です。変更が生じた場合は
公式Webサイト（<https://www.rokkosan.com/art2022/>）で発表します。
新型コロナウイルス感染症の状況により変更する場合があります。



公式 Web サイト

【会 期】 2022年8月27日（土）～11月23日（水・祝）

※会期中無休。ただし六甲山サイレンスリゾートのみ8月～10月の毎週月曜休業
（月曜祝日の場合は火曜に振替休業）

【開催時間】 10時～17時

※会場により一部異なります。

【会 場】 六甲ケーブル（六甲ケーブル下駅・山上駅）、天覧台、
六甲山サイレンスリゾート（旧六甲山ホテル）、ROKKO 森の音ミュージアム、
六甲高山植物園、六甲ガーデンテラスエリア、自然体感展望台 六甲枝垂れ、
兵庫県立六甲山ビジターセンター（記念碑台）、グランドホテル 六甲スカイヴィラ、
風の教会エリア、六甲有馬ロープウェー 六甲山頂駅
※会場は変更になる可能性があります。

【料 金】 有料会場をお得に巡ることができる「鑑賞パスポート」販売

種類	販売期間	鑑賞パスポート 代金	ナイトパス付鑑賞パスポート 代金
早割	2022年4月28日（木）～ 6月30日（木）	大人（2,000円） / 小人（900円）	大人（2,800円） / 小人（1,300円）
前売	2022年7月 1日（金）～ 8月26日（金）	大人（2,300円） / 小人（900円）	大人（3,100円） / 小人（1,300円）
当日（WEB）	2022年8月27日（土）～11月23日（水・祝）	大人（2,400円） / 小人（950円）	大人（3,200円） / 小人（1,350円）
当日（山上）		大人（2,500円） / 小人（1,000円）	大人（3,300円） / 小人（1,400円）

※大人（中学生以上）、小人（4歳～小学生）

※鑑賞パスポートで有料会場≪自然体感展望台 六甲枝垂れ、六甲高山植物園、ROKKO 森の音ミュージアム、風の教会エリア（含 六甲スカイヴィラ迎賓館）、六甲山サイレンスリゾート（旧六甲山ホテル）≫にそれぞれ会期中1回の入場（当日は再入場可）が可能です。

※ナイトパス付鑑賞パスポートは有料会場への入場と、夜間作品を期間限定で公開する「ひかりの森～夜の芸術散歩～」会場への入場がセットになったパスポートです。「ひかりの森～夜の芸術散歩～」は9月23日（金・祝）～11月23日（水・祝）の土日祝、17:00～20:00の限定開催となります。ご鑑賞にはナイトパス付鑑賞パスポートまたはナイトパス（大人1,600円 / 小人800円）が必要です。

【主 催】 六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社

【総合ディレクター／キュレーター】 高見澤清隆 インディペンデント・キュレーター

■ 会場とロケーション

「六甲ミーツ・アート芸術散歩」は、六甲山上の観光施設を主な会場としています。
オープンエアな環境で六甲山の自然とアート作品を楽しみながら、会場となる各施設それぞれの魅力もお楽しみいただけます。各会場は、六甲山上バス（路線バス：有料）の他、徒歩での移動も可能です。



自然体感展望台 六甲枝垂れ



六甲ケーブル



1,000万ドルの夜景

■ 出展アーティスト、展示作品について

「六甲ミーツ・アート芸術散歩2022」では、公募によって選出されたアーティストと招待アーティストの作品を展示します。本展は、2010年から毎年秋に開催され、これまで、総勢約430組以上のアーティストが六甲山上で作品の展示を行ってきました。今年の出展アーティストについては、決まり次第、随時公式Webサイトで発表します。

現在公募の作品プランを5月6日（金）まで募集しています。詳細は公式Webサイトをご覧ください。

■ 作品イメージ

六甲山のエリア特性をじっくりと読み込み、自然や景観、歴史を取り入れた作品を各会場に展示します。

1.



2.



3.



4.



- 1 作田優希《ちゃぶ台会議〜地球は今も蒼いのか〜》
2021年 六甲ガーデンテラスエリア
- 2 穂波梅太郎《僕の話》
2021年 六甲高山植物園
- 3 束芋《オクユク》
2021年 風の教会
- 4 高橋匡太《ひかりの実 in SIKI ガーデン》
2021年 ROKKO 森の音ミュージアム
写真：村上美都

【お問い合わせ先】 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2022 事務局（六甲山観光株式会社 営業推進部）

TEL：078-891-0048（平日 10：00～17：00） FAX：078-894-2088

web：<https://www.rokkosan.com/art2022/>